雪の波打つ海原か 落葉千々に原始林を抜け 血りが 滴たたた るナナカマ ド

樹しゅかん

に薫る雪煙 い遊ぶ繊細の の花はな

ぞ柔らかに

冬の無情な愛を知る 振ふれ 自然に根ざす孤独得て 枯れ蔓覆うこの寮に ば残映光なく りょう

憂き世肴に耽る子ら 蒼空麗しき北の幸 白妙 綻 ぶ棹透り

枯淡の美にも感激ずやピトルス

散ればこそよと小夜嵐

in the state of the state of

帆立つ遊子馳せし零

佐藤亮君 作曲

冠花 莙

作 詇